

会 議 録	
会議名	佐久市公民館運営審議会
日時	令和7年10月6日(月) 午後3時～午後4時50分
場所	佐久市役所 8階大会議室
出席者	審議会委員 15名出席(重田みどり委員・北山浩一委員欠席) 市(事務局):木下課長、柳澤中央公民館長、三石浅間公民館長、浅川野沢公民館長、小平中込公民館長、青木東公民館長、小山臼田公民館長、浅川浅科公民館長、三浦望月公民館長、荒木、大塚
【主な内容】	
事務局	佐久市公民館運営審議会について 資料2ページから4ページまでを説明。 質問、意見なし
会議事項	
事務局	(1)令和6年度の公民館事業報告等について 資料5ページから7ページまでを説明。
委員	資料を見て、公民館活動は多岐にわたることがわかる。地域活動として研修会を行っており、お互いに成長していく形が見える。
委員	学校や家庭で体験できないことを実施している。またブラッシュアップして還元していることがわかる。
委員	公民館では学習グループが根気強く活動している。「集い・結び・学ぶ」の場。自分の公民館はそれほど多くやっていないが、地域住民を集めるのが大変だ。
委員	子ども達は学んでいる大人の行動を見ている。クラブ活動では地域の方が講師になって教えてくれている。講師は子ども達に元気をもらったと言ってくれるのでWin-Winな関係が築けとても大切だと思う。
委員	市内の2校から学習グループにクラブ活動の支援の依頼があった。浅科ではCS(コミュニティースクール)でも参加している。学習グループも負担が大きく学校に回数を減らしてもらったこともあるが、交流を進めてもらおうとありがたい。学校からの依頼も公民館活動の実績とできないか。
事務局	学校のカリキュラムの中で実施しているものは、公民館活動とは別ととらえている。
事務局	(2)令和7年度の公民館事業について 資料8ページから17ページまでを説明。 (各地区館実施事業については各地区館長から説明)
委員	浅間公民館のスマホ分解教室は今までにない。今の子ども達にはスマホは身近なもので実際に分解の体験ができるのがよい。他の地区でもやったらいいと感じる。学校ではなかなかできないこと。子どもは夏休みだが親は仕事をしている家庭も多いと思う。宣伝活動も大事にしたい。
委員	スマホ分解教室はきっと子どもも興味を持ったと思う。自分はA Iチャットでの文書作成等の活用についての講習を受けたが、A Iの活用を学べるものや、誰でも参加できるパラスポーツ等の活動もあるといいと思う。 30年後に今の子ども達が講師になっていくのではないかと考えると期待が持てる。公民館の活動内容は様々な分野が網羅されている。低学年から親子の満足感、また友達同士での参加ができる満足感がそれぞれある。体験は頭だけでなく、心に刻み込まれる。

委員	公民館活動の幅広さ、奥深さ、アイデアを感じた。東地区では公民館のつどいで小学生の発表があったり、とてもいい活動だった。 公民館の活動は何を目的にするのか、自治という視点から地域課題の解決やいろいろあると思うが、自分は人権同和の立場から言うと人権同和課では活動の見直しを行っている。親子の関係等日常にある人権について扱ってもらいたい。
委員	コーラスまつり等グループで発表する場は多くあるが、個人で発表する場がないと感じている。自分の地区ではコロナ前はスポーツ活動を行っていたが、野球は人数が集まらないということになり、クラシック音楽のイベントを行った。 人を集めるのが難しい状況になっているので、そういうところにも支援があるといい。
委員	子ども公民館では「親子で」となっているが、親子で参加できない子どもはどうしたらいいのか。
事務局	親子としているが、保護者、祖父母と一緒に参加するということも増えている。
委員	いろいろな子が参加できるといい。
委員	個人での発表の場がないとの話があったが、シニアクラブでの芸能発表の場があるので、そのような方がいたら是非参加してもらいたい。 中込地区の化石や宝石はとてもうれしいことをしていただいている。浅科にもいろいろな言い伝えがあり、五郎兵衛用水等歴史があるので、学ぶ探究をする機会があるとありがたいと思う。
委員	子どもを対象に、夏休みを主に実施している。猛暑や熊の出没等に気を配っていてありがたい。最近の子ども達を見ているとゴミの分別ができなかったり、環境問題に取り組むものがあるといいと思う。また、学習グループに若い人を取り込むようなものがあるとよいと思う。
会長	以上で会議事項は終了。
事務局	今日いただいた意見は職員会議でも伝え、共有をはかりたい。 学習グループの衰退、地域公民館のコミュニティーの衰退があるが、自治力の向上を目指し、地域公民館への支援をしていく。 公民館報でもモデル事業を採り上げ、どのように発展させているか等工夫されていることを掲載している。 是非、身近な地域公民館の活動も注目していただきたい。
事務局	3月に第2回目の公民館運営審議会を予定している。